

遺伝発達行動学分野

(1) 現在の主な研究テーマ

1. 抑制性神経伝達物質、GABA が関与する精神神経疾患（統合失調症、てんかん病など）のモデル動物を作製・解析することにより病態の解明を目指している。また、GABA の合成酵素やトランスポーターのノックアウトマウスを複数作製しており、情動行動（不安や攻撃性など）における GABA 神経伝達の役割を明らかにする。
2. 神経ネットワークは興奮性ニューロンと抑制性ニューロンから構成される。抑制性ニューロンを蛍光蛋白質で標識した遺伝子改変マウスやトランスジェニックラットを作製して、抑制性ニューロンの発生および機能解析を行なっている。
3. 視覚情報を適切に脳に取り込むためには、視線を保持することにより視覚対象を網膜上で静止させる必要があります。我々は、視線保持の仕組みを明らかにするため、視線制御の中枢である脳幹の舌下神経前位核のニューロン・神経回路特性について、電気生理学的、形態学的、分子生物学的手法を用いて研究しています。

(2) 研究室の構成及び紹介

研究室には 4 人の教員、4 人の研究支援者がおり、大学院生の指導や支援を行っています。また、他分野の教員も共同研究に参加して実験しています。大学院への進学については、医学部卒業後、研修医終了後いずれも可能。また、医学部以外の学部でも問題ありません。教員は、医学系だけでなく工学系、理学系の出身者もいます。

研究室の主要な業績として、この約 8 年間に J. Neuroscience 誌に 38 編、European J. Neuroscience 誌 11 編、Neuroscience 誌 10 編、Pro. Natl. Acad. Sci. USA 誌 5 編、Neuron 誌 4 編、Nature Neuroscience 誌に 2 編、Science 誌と Nature Genetics 誌と Nature Communications 誌、Cell Reports 誌に各 1 編の論文を発表しています。

(3) ホームページ

http://www2.med.gunma-u.ac.jp/fmi/xsl/neurosci/index.xsl?-db=course.fp7&-lay=set_web&order=8&-find

教室の詳しい内容や最近の様子については、ホームページをご覧ください。

(4) 連絡先

柳川右千夫

群馬大学大学院医学系研究科・遺伝発達行動学分野

Email: yanagawa@med.gunma-u.ac.jp

Tel: 027-220-8040